



てんてん祭り2010「育む」を開催して

てんてん祭り実行委員会 委員長

山口 淳一

今年で第5回を迎える文化祭・てんてん祭りは、地域に根ざした共和病院と“てんてん祭り”を地域の皆様に育てていただいた気持ちを込めて『育む』をテーマに行われました。天気予報は100%「雨」、前日準備からの不安が的中し、朝から降りしきる雨の中10月9日(土)当日を迎えました。この雨にも関わらず、参加及び来場者は地域や各関係機関の皆様350名、入院患者様300名、その他ボランティアさんを含め総数700名となり、昨年に続きたくさんの皆様に参加していただきました。

オープニングセレモニーの挨拶のあと、奇跡的に雨が一瞬止み、ヴォーカル(サクソ&カホンの5人組)さんの素敵な演奏が皆様の前で披露されました。午前中のカラオケステージ、横根山自治区子供会の獅子舞、ブラザー玉見さんの大道芸なども、幸いにして小雨が降りながらも大盛況の中無事に終えることができ、ご好評をいただきました。

模擬店には、毎年出店して頂いている家族会の皆さんをはじめ、愛知ヨーク、憩の郷の方々など、てんてん祭りでは恒例の店が並びました。各部署からの

ポップコーン、ちょこちょこ姫カップ、わらび餅、うどん、焼き芋、焼きそば等大盛況でした。また、今回は大府市内にお店を構えるナンマスターさん、白いたい焼き屋さんにも出店していただき、今年はずいぶん違った屋台の雰囲気も味わえました。

健康についての催し物には、従来のリハビリ体験に来場者参加型の「ニュースポーツ」が加わり、皆様に楽しんでいただきました。健康チェックや血糖値測定などは順番待ちが出る程の人気のため、健康への関心の高さが感じられました。

午後からのステージイベントでは、職員の普段見られない姿に感動する患者様やたくさんの笑顔を見ることができ、この日のためのスタッフの準備と苦労が報われました。

今後も地域に根ざした病院を目指し、地域の皆様には変わらぬご関心をお寄せ頂き、当院の活動にご理解をいただけるよう様々な取り組みを行なってまいります。最後に皆様の健康を願い、お礼の言葉とさせていただきます。





日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

雨でも大盛況



今年のとてん祭りは、5年目にして初めての雨天での開催となり、前日遅くまで準備をしてきたメンバーにとっては、不安と期待が入り混じったオープニングとなりました。

今回は、今まで以上にボリュームも質も上げようという意気込みが強いメンバーが集まり、委員長を中心に一致団結したパワーが出せたと自負しています。



出店をお願いしたり、愛知レクリエーション協会さんの協力によりニュースポーツ体験という3種類のゲームを通してお子さん達と交流を深めたり、院内スタッフによる模擬店・企画もお子さん向けのものを多く取り入れる工夫をしました。

雨のために、来場者数減を心配していましたが、小雨のなかでも続々とみなさんが来場され、屋外のテントはいつもと同じ賑わいとなり、昼前後には売り切れてしまった模擬店もあったほどでした。その他、時間によっては行列ができていた模擬店・企画などもあり、嬉しい誤算となりました。



「育む」というテーマに沿って、地域の方々（特にお子さん）にたくさん来場していただきたいという思いから、新しい取り組みとして、大府に店を持つ“ナンマスター”さんと“鳥鳥婦人”さんに



足元の悪いなか来場していただいた皆様には申し訳ない気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。

午後になると雨足が強くなり、模擬店の完売とも相まって屋内の会場がにぎやかになりました。キッズコーナーにもたくさんのお子さん達が集まりスタンプラリーも好評でした。4階ホールのステージにはたくさんのお客さんや患者様が集まり、デイケアメンバーによる演奏や、職員と患者様によるダンスなど、様々な歌や踊りは活気のあるステージを創りだし盛り上がりしました。



最後に、ご協力いただいた皆様に感謝し、雨での開催を含めた今回の経験を今後に活かしていけるよう、次の実行委員会に引き継いでいきたいと思ひます。

皆さん！来年も、更にパワーアップしたとてん祭りにご期待下さい！



とてん祭り 実行委員一同

法人本部



法人本部は、法人全体の年間予算の執行や組織・人事・教育・顧客満足の調査など、法人運営、経営全般を統括する部署として位置づけられ、理事長を中心とした役員会の意思決定にあたり、主に次の役割が求められています。

- ① 理事会の意思決定に基づいた法人全体及び各事業の計画的な進行管理をする。
- ② 財務上・事業経営上の課題について、具体的な情報を収集し分析する。
- ③ 分析結果・対応策について、理事長や理事会に報告し判断を求める。
- ④ 各施設・事業の財務・総務・人事業務を必要に応じて集約し、業務量やコストの効率化を図る。

私たちは、病院診療部、看護部、医療技術部や関連事業所の皆さんが思う存分に質の高い医療・介護サービスが提供できる環境づくりを目指して、また、全職員が「優しい医療・楽しい職場」を実感し、発展するよう部員一丸となり業務にあたって参ります。皆様よろしくお願ひします。



<ご挨拶>

- ・理事長と名誉院長の秘書ということで同僚からは「大変だね」と同情されますが、想像よりも楽しい仕事です。スケジュール管理、書類作成から掃除・洗濯まで幅広くこなしつつ、サッカー観戦とコンサートでストレス発散しています。
- ・財務担当の原です。財務では、法人の血液である資金を扱い、血流を良くし共和国全体の運営が円滑に行えるように日々健康管理をチェックしています。各専門職が本来の力を発揮できる働きやすい環境整備の為の縁の下の力持ちを目指しています。
- ・情報管理担当の平山です。共和国では2009年8月より電子カルテを導入しました。良質な診療・看護をスタッフに行なってもらうため日々、保守点検等を行なっています。今後は医療統計分析を充実させたいと考えています。
- ・本部長の江端です。「飲む」=△、「打つ」=◎、「買う」=??です。座右の銘：脱皮できない蛇は死ぬ（ニーチェ）。今後ともご支援、ご教授のほどよろしくお願ひします。

編集後記



「猛暑」と呼ぶにふさわしい夏が終わったと思ったら、いきなり肌寒い気候になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。今号のWA!では、当院の秋の一大行事、「てんてん祭り」を中心にお伝えしました。

話は変わりますが、世の日本史好き男女「歴男」「歴女」は、幕末派と戦国派に二分されるのだそうです。そんな私は幕末派ですので、当然、NHKの大河ドラマ「龍馬伝」は、毎週欠かさず観ています。ま、そんなことはどうでもいいんですが…

幕末には、有名無名を問わずたくさんの「志士」たちが、それぞれの想いを胸に、持てる力を存分に活かして、様々な場面で活躍しました。

全国大会に 推薦されました

当院 看護部では、教育委員会のサポートを受けながら看護研究を進めています。やる気がある方はどなたでも!!の意気込みで毎年職員に募集をかけ、研究者を募っています。平成21年度には3組の研究グループが活動し、今年の8月27日に開催された日本精神科看護技術協会愛知県支部の看護研究論文発表会に当院から2例出題した結果、B-3病棟の事例研究が同協会の全国大会に推薦されました。研究内容は、患者様の苦痛を少しでも軽減させてあげたいという思いから看護を展開した結果、患者様に寄り添う看護の大切さについて再認識することができたことをまとめあげました。今回の推薦は、看護部にとって日々提供させていただいている看護・介護が認められた成果だと確信しています。現在も日々の業務を振り返り、来年度の発表に向けて準備をしています。

このように日々行われている看護をまとめあげ、発表し認められたことは、私たち看護師にとってパワーの源になります。これからも当院での看護実践が全国に羽ばたけるよう、看護部教育委員会が一丸となって応援していきますのでご期待下さい。



共和国にもたくさんの職員がいます。ほとんどが無名の（失礼!?!）「志士」ですが、てんてん祭りははじめとする病院の行事や、日々の業務の中で、それぞれの持ち味を活かし、時には「えっ!この人がこんなことを!!!」と、びっくりするような一面を見せてつ、患者様のために日々頑張っています。

幕末ほどの激動期ではないかもしれませんが、決して楽な時代ではありません。荒波を乗り越えて行くには、様々なキャラクターがいて、それぞれに持ち味を発揮することが大切なのだと思います。そのために、いろいろな人がいて良い、いえ、いなくてはならない、そう思うのでした。

広報誌委員会 河村 勝浩

看護部集合教育・介護課勉強会 『みんなの中の 自分を考える』

看護部教育委員会では、毎年1回介護課が企画した集合教育を行なっています。今年は戸枝陽基さんをお招きして、10月12日(火)多目的ホールにて、今年度看護部教育委員会のテーマである「みんなの中の自分」についてお話をいただきました。↓

ることにつながることを、例え話や具体的な事例を

用いながら、わかりやすく説明していただきました。また、ノーマライゼーションは何に取り組むことによって実現していくのかについてもお聞きすることができました。それは、当たり前



戸枝さんは現在、半田市にある“社会福祉法人むそう”で理事長をされています。大学卒業後、ケアワーカーとして施設で働き、その中で障がい者が地域で生活していける環境作りが必要であると感じられ、『むそう』を立ち上げられました。

講演会ではプロジェクターで写真や絵を取り入れ、戸枝さんが考える福祉や介護についての基本的な考え方について話されました。障がいとは決して絶対的なものではなく、人間のその時代ごとの価値観が強く反映されること、障がいを個性ととらえることによって時にはそれが能力として発揮されることもあるということ、障がいを持つ方を大切にすること、結局人間という存在そのものを大切にす

のライフイベント、介護サービスを行なう側についても当たりの待遇がなされること等々でした。



看護・介護という仕事をしていくためには必要不可欠なノーマライゼーションという概念ですが、もう一度、参加者一人一人が考えることによって、明日からの優しい医療へとつながっていくのでは、と感じました。

介護課 今村 諭史



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- 患者様に安心と満足を提供する医療
- 良質且つ効率的な医療の提供
- 患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは

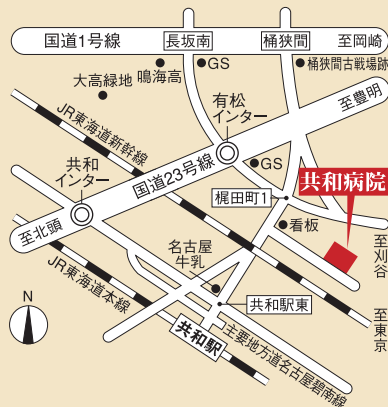
- 毎日の出勤が楽しくなる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が患者様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



お知らせ

●12月29日(水)～1月3日(月)
年末年始により外来診療を休診させていただきます。

※詳細は、追って院内掲示等でご案内いたします。

●1月16日(日)
平成22年度 知多半島地域「こころの健康フェスティバル」に参加します。
●場所/半田市福祉文化会館

特定医療法人 共和会 **共和病院**

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>